

# IPF

ヘッド用

## LED コンバージョンキット取扱説明書

この度は、IPF 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

お読みになった後も本説明書は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。

本文中の **△注意マーク** と **△警告マーク** は取り付け及び取扱いに関して大変重要な事項ですので必ず厳守してください。

### 作業の前に

- ・本製品は、未登録車（登録前の車両）への取り付けは出来ません。必ず登録後の車両へ取り付けてください。
- ・本製品は、車検対応品ですが検査官によっては不適合と判断される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品は、純正ハロゲン / 白熱ランプおよび、IPF 製ハロゲンランプ用の LED コンバージョンキットとして設計されています。
- ・本製品は、各形式指定の LED コンバージョンキットとして設計しています。指定以外のバルブ形式が使われている灯体への取り付けは行わないでください。
- ・取り付けの前に点灯テストを参照し、必ず点灯テストを行ってください。
- ・本製品を使用することにより、ラジオなどに雑音が入る場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品を使用することにより、一部の車両ではハイビームインジケーターが正常に点灯しない場合があります。その場合は当社ハイビームインジケーター点灯回路（品番：WA-4）を装着してください。

### 安全上のご注意 △注意

- ・本製品は 12V 自動車専用です。24V 車には取り付けを行わないでください。
- ・本製品の取り付けはお買い上げの販売店もしくは技術力のあるショップに依頼してください。
- ・本製品の取り扱いには十分注意し、落としたり無理な力を加えたりしないでください。特に LED 素子はいへん壊れやすくなっているため、ぶついたり触ったりしないでください。
- ・取り付け作業は必ずエンジンを切り、ランプスイッチを OFF にして行ってください。
- ・点灯中や点灯直後はバルブがけいへん熱いため、やけどなどにご注意ください。
- ・本製品の改造や塗装は行わないでください。
- ・点灯中のバルブを直視しないでください。目が痛くなり、視力障害の原因となることがあります。
- ・幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲やケガの原因となることがあります。
- ・本製品は、使用するランプの種類によっては点灯時に色調が異なって見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品を使用することにより、一部車両では玉切れ警告灯が点灯したり、点滅などが発生する場合があります。
- ・本製品を使用中に不具合が発生した場合には、速やかに使用を中止して純正バルブに戻してください。
- ・下記の車両装置は純正バルブとの組合せを前提に設計されているため、本製品を装着することにより正しく作動しなくなるおそれがあります。本製品を使用したことによる下記車両装置の不作為や誤作動、それらにより生じた事故や損害については一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・自動運転 ・衝突被害軽減ブレーキ（自動ブレーキ）
- ・アダプティブクルーズコントロール
- ・車線逸脱防止支援システム ・誤発進抑制制御機能
- ・クリアランスソナー ・駐車支援システム
- ・アダプティブフロントライティングシステム
- ・その他、カメラ、ミリ波レーダー、赤外線レーザー、超音波等を使用した装置
- ・本製品に水滴や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。また、車両の清掃や整備時に、オイルやケミカル類等がかからないようにしてください。
- ・本製品は純正バルブに比べ発熱量が少ないため、ランプに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ランプは天候などの状況に応じて正しく使用してください。

ユーザー登録をしてアンケートに答えると  
抽選でプレゼントが当たる!!

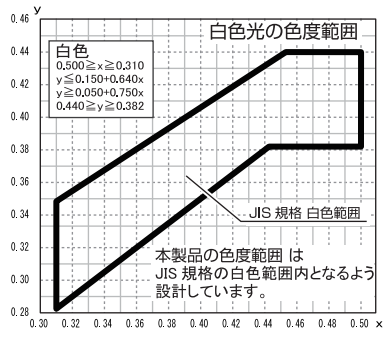
登録は右記の QR コードを読み取って登録ページへアクセスしてください。アクセス出来ない場合は PC から下の URL にアクセスしてください。  
<https://www.ipf.co.jp/ank/>



### 車検に関して

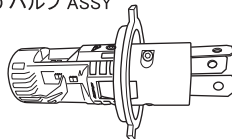
本製品は、下記に示す車検審査の性能要件を満たす車検適合品ですが、純正バルブとは異なった光に見え、車検不適合と判断される場合がありますので、車検審査時にこの書類を審査官に提示願います。（経年劣化などで、灯具の損傷やレンズ面に汚損がある場合、バルブ本来の性能が発揮できない場合があります。）

### 発光色「白色」



### 構成部品

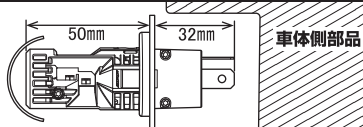
・ LED バルブ ASSY



... 2個

## LEDバルブの取付について

### バルブ周辺スペース



⚠ ランプの可動範囲を考慮し、周辺スペースを確認してください。

### 水滴・泥・粉塵等の直接飛散

フェンダーライナー  
(タイヤハウス内のカバー)  
が装着されていない車両

NG



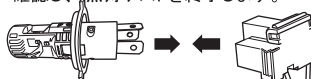
× 適合不可

取付前に必ず両側同時に行ってください。

### LEDバルブ点灯テスト要領

<点灯テスト手順>

- ・ランプスイッチをONにし、正常に点灯することを確認してください。
- ・車両の計器類に警告表示がでないことを確認し、点灯テストを終了します。



LEDバルブコネクター  
<極性なし>

車両側コネクター

⚠ 警告

コネクターが抜けた状態で、ランプスイッチをONにしたリテスターを当てたりしないでください。車両の警告灯が点灯するおそれがあります。

## 取付手順と要領

### 1 純正バルブの確認

純正バルブの取付状態を確認してください。バルブの取付状態が目視で確認できない場合や、バルブ交換にともなう作業スペースが狭い車両は、フロントバンパーや周辺部品を車両から取り外し作業を行ってください。純正バルブの取り外し方、交換方法についての詳細は、車両の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

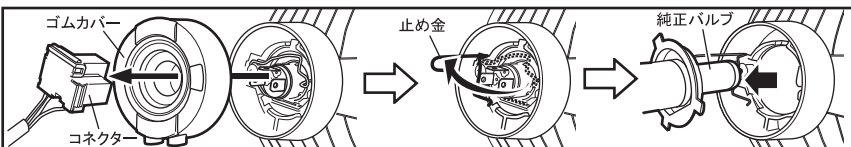
ADAS (先進運転支援システム) 等、カメラ / レーダー等各センサーの付いたバンパー / グリル等を取り外した場合、部品復元後センサーのエーミング (校正・調整) が必要です。認証を受けた整備工場にてエーミングを行ってください。エーミングを行わない場合、自動ブレーキ、車両周辺監視モニター等が正常に動作しなくなるおそれがあります。

### 2 純正バルブの取外し

コネクターとゴムカバーを取り外してから止め金を外し、純正バルブを取り外してください。

※ ヘッドランプの形状や純正バルブの取り外し方はメーカーや車種によって異なります。

詳細な作業手順は取り付けを行う車両の取扱説明書を参照してください。

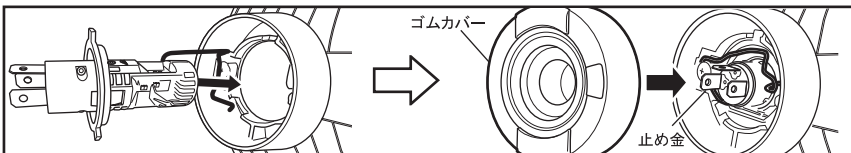


### 3 LEDバルブの取付

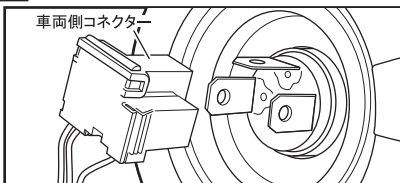
止め金で固定してからゴムカバーを取り付けてください。

⚠ 注意

- ・ヘッドランプにセットした際、がたつきがないようにしてください。がたつきがあるとLEDバルブやヘッドランプが車両の振動で擦れ、損傷するおそれがあります。
- ・振動が多い車両 (トラック・オフロード車など) では、がたつきがないよう特に注意して取り付けてください。
- ・止め金は必ず固定されたことを確認してください。
- ・ゴムカバーは口金部の根元部分までしっかりと装着してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。



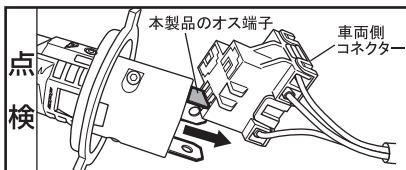
## 4 コネクターの接続



端子の向きに注意して、車両側コネクターを奥までしっかりと差し込んでください。ヘッドランプユニットを取り外して作業を行った場合は、取り外した部品を全て組み付けてください。

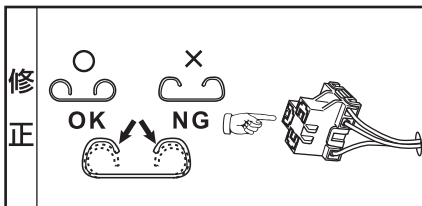
## 端子の点検・修正（必ず確認してください！）

コネクターをバルブから外す時無理にこじったり、また脱着頻度が多いと端子が変形し広がってしまい接触不良の原因となります。



本製品のオス端子（1枚だけ）を軽く差し込み、オス端子が半分以上入ってしまうようであれば修正が必要です。

\*3ヶ所全ての端子を確認してください。



先端の小さいマイナスドライバー（精密ドライバー）等でコネクターの差し込み側から広がった端子を狭めてください。

### 警告

修正を行う際は、バッテリーのマイナスターミナルを外してから、作業を行ってください。バッテリーが2個搭載されている車両は、両方共マイナスターミナルを外してください。

## 5 点灯確認

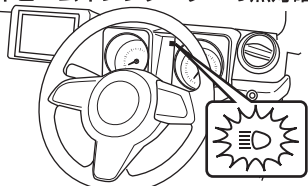
エンジンを始動し、ヘッドランプスイッチを ON にして、ロービーム、ハイビームがそれぞれ正常に点灯することを確認してください。

ハイビーム時にハイビームインジケーターが正常に点灯することを確認してください。

光軸の調整をヘッドライトテスターで行ってください。

一部の車両ではハイビームインジケーターが正常に点灯しない場合があります。その場合は当社ハイビームインジケーター点灯回路（品番：WA-4）を装着してください。

### ハイビームインジケーターの点灯確認



※ 昼間は見えにくい場合があります。ハイビーム自動切替機能装着車は、機能を OFF にして確認してください。

### △ ヘッドライトテスター測定時の注意事項

H10.9.1 以降の製作車はロービーム（すれ違い用前照灯）で測定・調整を行ってください。  
H10.8.31 以前の製作車はハイビーム（走行用前照灯）で測定・調整を行ってください。  
またヘッドライトテスターのオートモードで検査をした場合において、ヘッドライトテスターの仕様や設定により意図せず不適合となる場合があります。弊社としましては手動（目視検査モード）にて測光することを推奨します。

